

DBVA20210822-001

一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会

登録選手及びスタッフ各位

平素より当協会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

以下、JPC 様よりご案内を頂きましたのでご確認ください。

質問がある場合は、代表理事までお問い合わせください。

一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会

代表理事 牛尾洋人

以下引用

.....

JPC 加盟競技団体 代表者（強化責任者・強化担当者・強化事務）各位

お世話になります。すでに報道等でご存知かと思いますが、東京 2020 パラリンピック日本代表選手者が競技団体が定めるコンプライアンス違反により、日本代表選手としての資格も失うという事態が発生しました。

JPC より改めて加盟競技団体に向けご注意を申し上げますので、添付の文書をご確認いただき、団体に所属する選手をはじめ役員・コーチ等関係の皆さまに広くご周知頂きますよう、よろしくお願い致します。

今後もパラスポーツ発展に向け、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

.....

公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会（強化部）

日本パラリンピック委員会

井田 朋宏

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6-3F

TEL 03-5939-7021 FAX 03-5641-1213 E-mail tida@jsad.or.jp

.....

.....

ここまで

令和3年8月22日

JPC 加盟競技団体 代表者 各位

日本パラリンピック委員会
委員長 河合 純一
(公 印 省 略)

この度、JPC 加盟競技団体に所属する選手の中で、東京 2020 パラリンピック競技大会日本代表選手に選出された者が当該競技団体が定めるコンプライアンス違反により競技団体の登録資格に関する処分を受けました。その結果、東京 2020 パラリンピック競技大会日本代表選手としての資格も失うという事態が発生しました。8月17日に無事結団式を挙行し、東京パラリンピック開幕を目前に控えたこの時期にパラリンピック・ムーブメントの推進に水を差すこのような出来事が発生したことに対し大変残念な思いで一杯です。

競技団体の代表者の皆様におかれましては、多くの皆様からの支援があることを再認識し、別紙「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会及び登録・加盟団体における倫理及びコンプライアンスに関するガイドライン」を再度ご確認いただくとともに、登録選手・役員等に対して改めて注意を喚起し、高い道徳性と倫理観を持った行動に努めていただくよう重ねて徹底していただきたいと思います。

DBVA20211201-001

一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会

登録選手及びスタッフ各位

平素より当協会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

以下、JPC 様よりご案内を頂きましたのでご確認ください。

質問がある場合は、代表理事までお問い合わせください。

一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会

代表理事 牛尾洋人

以下引用

.....

JPC 加盟競技団体 各位

いつもお世話になっております。 標記について以下ウェブページより既にご確認いただいたかもしれませんが、

JADA より文書でも注意喚起が届きましたのでお送り致します。

<https://www.playtruejapan.org/topics/2021/000538.html>

以上、どうぞよろしくお願い申し上げます。

協会名称の変更に伴い、2021 年 10 月 1 日よりメールアドレスが変更となりました。

新メールアドレス：jpc99@parasports.or.jp

公益財団法人日本パラスポーツ協会 強化部国際課 日本パラリンピック委員会 国際課 (堀添里緒)

e-mail jpc99@parasports.or.jp

HP <https://www.parasports.or.jp/> Tel 03-5939-7021 Fax 03-5641-1213

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-13-6 EDGE 水天宮ビル 3 階

.....

ここまで

令和3年12月1日
事務連絡

JADA 加盟競技団体
事務局 長 殿

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
事務局長 綾部 吉也
< 公 印 省 略 >

吸入ベータ2作用薬のネブライザー(噴霧器)による使用禁止に関する
注意喚起について (通知)

平素よりアンチ・ドーピング活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)の開催前に、世界アンチ・ドーピング規程禁止表国際基準(以下、禁止表)の禁止方法『S3.ベータ2作用薬』について世界アンチ・ドーピング機構(以下、WADA)の見解が示され、この度 Global Drug Reference Online (Global DRO) の結果表示を変更しましたので、別紙のとおりご案内致します。

本内容につきましては、医師をはじめとした医療関係者、アスリートおよび関係各位にご周知くださいますようお願い申し上げます。

お忙しい中恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- ・吸入ベータ2作用薬のネブライザー(噴霧器)による使用の禁止と TUE 申請：別紙1

< 本件に関するお問合せ >

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

お問合せフォーム：

<https://www.playtruejapan.org/form/index.html>

担当：結果管理・サイエンス部サイエンスグループ
鈴木 (智弓)

以上

吸入ベータ 2 作用薬のネブライザー(噴霧器)による使用の禁止と TUE 申請

『S3. ベータ 2 作用薬』のネブライザー(噴霧器)使用について、WADA より見解が示されました。

[参考：2021 年禁止表国際基準(禁止表)の日本語訳]

すべての選択的および非選択的ベータ 2 作用薬は、すべての光学異性体を含めて禁止される。

-物質名例示省略-

[例外]

- ・吸入サルブタモール (24 時間で最大 1600 μ g、いかなる用量から開始しても 12 時間で 800 μ g を超えないこと)
- ・吸入ホルモテロール (24 時間で最大投与量 54 μ g)
- ・吸入サルメテロール (24 時間で最大 200 μ g)
- ・吸入ピランテロール (24 時間で最大 25 μ g)

[注意]

尿中のサルブタモールが 1000 ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが 40 ng/mL を超える場合は、治療を意図した使用ではないため、管理された薬物動態研究を通してその異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを競技者が立証しないかぎり、違反が疑われ

[WADA の見解]

『S3.ベータ 2 作用薬』を吸入使用として、禁止表において許可された最大投与量を超えて使用する場合は禁止する。吸入使用の一種であるネブライザー（噴霧器）使用は、一般的な吸入器 [MDI (Metered Dose Inhalers)と DPI(dry powder inhaler)]が上手く利用できない患者に対しても吸入効率がよいとされ、使用されることがある。尿中閾値が設定されているサルブタモールやホルモテロールをネブライザー使用する場合、アスリートの検体から尿中閾値を超えた濃度を検出する可能性がある。

WADA は、www.wada-ama.org/en/questions-answers/prohibited-list-qa にある『禁止表 Q&A』のネブライザー（噴霧器）使用に関する Q&A を変更する予定である。

[WADA の見解に基づく Global DRO 表示]

Global DRO では治療使用特例(TUE)が必要であることを明示化するため、ネブライザー（噴霧器）使用を『常に禁止』であると表示する。

[Global DRO の検索結果]

吸入使用は、『吸入－ネブライザー使用』と『吸入－ネブライザー以外』を区別して表示しますので、必ず投与経路を確認してください。

[アスリートに求められる対応]

- ・尿中閾値が設定されている『S3.ベータ2作用薬』の吸入使用としてネブライザー（噴霧器）を使用する場合は、尿中閾値を超えるため TUE が必要です。TUE 申請の前に、自身の『アスリートカテゴリー』（https://www.playtruejapan.org/athlete/athlete_category.html）を必ず確認してください。

以上

DBVA20220201-001

一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会

登録選手及びスタッフ各位

平素より当協会の運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

以下、JPC 様よりご案内を頂きましたのでご確認ください。

質問がある場合は、代表理事までお問い合わせください。

一般社団法人 日本デフビーチバレーボール協会

代表理事 牛尾洋人

以下引用

.....

JPC 加盟競技団体 関係各位

お世話になります。この度 JPC では、国際総合競技大会等に派遣する日本代表選手・スタッフの選考に関するガイドライン（案）を作成いたしました。競技団体内の委員会の設置や、規程の作成、見直しの一助になればと考えたものですので、ぜひご活用いただけますと幸いです。

引き続きよろしくお願いいたします。

公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会

.....

ここまで

JPC 加盟競技団体 代表者 各位

パラリンピック等国際総合競技大会日本代表選手・スタッフの選考規程について

公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会
委員長 河 合 純 一
(公 印 省 略)

平素よりパラスポーツの振興にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

パラリンピック、デフリンピック、国際競技統括団体等が主催する世界選手権等に出場する日本代表選手・スタッフの選考(JPC 派遣大会については JPC への候補選手・スタッフの推薦)は、公平かつ透明性のある手続き、方法によって行われることが強く求められます。また、選考結果に疑義が生じた場合は、当該対象者が異議申し立てをできる機会を設け、選考結果に至った理由について誠実に回答するなど、健全なガバナンスとコンプライアンスの遵守が不可欠です。これらについては、スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>においても求められており、中央競技団体に対する適合性審査における重要な項目となっています。

しかし、昨年開催された東京2020パラリンピック競技大会に出場する日本代表選手・スタッフの選考のために実施した競技団体ヒアリングにおいて、複数の競技団体では選考規程等が不十分であったり、一般に公表されていなかったりするなど、公平性、透明性の観点からも改善の余地があるものが散見されました。

そこで JPC では、国際総合競技大会等に派遣する日本代表選手・スタッフの選考に関する競技団体内の委員会の設置や規程の作成、見直しの一助となるガイドラインを作成しましたので参考にしていただければ幸いです。

「パラリンピック等国際総合競技大会」日本代表選手並びにスタッフの選考に係るガイドライン

日本パラリンピック委員会

令和4年1月 日作成

1. 日本代表選手選考委員会の設置

(1)強化担当理事、法務関係者、学識経験者等により日本代表選手選考委員会規程(案)を作成し、理事会の承認を得て発効する。

(2)日本代表選手選考委員会規程に基づき選考委員長、選考委員を選出し理事会の承認を得て任命する。

(3)選考委員には、強化担当理事、強化責任者の他、弁護士、学識経験者等の外部委員を加えてジェンダーバランスに配慮した構成にすること。

(4)選考委員には、代表理事等法人の代表者、選考対象者のプライベートコーチ等対象選手と利害関係にある者、理事等の連盟役員であっても選考対象になり得る競技者を任命しないこと。

(5)日本代表選手選考委員会規程は競技団体公式ウェブサイトで公表するなど透明性を確保すること。

2. 日本代表選手選考規程の作成

(1)監督・コーチおよび強化委員会等により日本代表選手選考規程(案)を作成し、理事会の承認を得て発効する。選考規程には以下の項目を加えることが望ましい。

① 選考方針

② 選考条件(連盟登録、IF 登録、クラス分けステイタス、強化指定、選考対象期間、選考対象大会、参加標準記録、世界ランキング、その他選考の根拠となる客観的データ等)

③ 選考基準(対象期間の記録・大会結果・ランキング等、団体競技であっても可能な範囲で選考の根拠となる客観的データ等を設定することが望ましい。)

④ 日本代表選手の審査から決定までの手順及びスケジュール(監督・コーチおよび強化委員会等により選考対象者リストを作成、日本代表選手選考委員会により確認・修正、理事会の承認により決定)

⑤ 異議申し立て条項(異議申し立て期間、方法、異議の受諾・否決の通知方法、選考理由の開示等)

⑥ スポーツ仲裁自動応諾条項

⑦ 日本代表選手選考規程は競技団体公式ウェブサイト等で公表するなど、透明性を確保すること(選手選考についてはウェブサイト等の公表のみでなく、説明会等の実施により対象となる競技者に積極的に周知すること。また、選考基準等に修正・変更があった場合は、直ちに公表・周知すること)。

(2)日本代表選手の選考・決定

日本代表選手選考規程に基づき日本代表選手選考委員会により選考し、理事会の承認を得て決定する。

3. 日本代表スタッフ選考規程の作成

(1)強化担当理事、強化委員長、法務関係者、学識経験者等により日本代表スタッフ選考規程(案)を作成し、理事会の承認を得て発効する。

①選考方針・選考条件・基準

②日本代表スタッフの審査から決定までの手順及びスケジュール

③異議申し立て条項(異議申し立て期間、方法、異議の受諾・否決の通知方法、選考理由の開示等)

③スポーツ仲裁自動応諾条項

④日本代表スタッフ選考規程は競技団体公式ウェブサイト等で公表するなど、透明性を確保すること(スタッフ選考についてはウェブサイト等の公表のみでなく、説明会等の実施により対象となる関係者に積極的に周知すること。また、選考基準等に修正・変更があった場合は、直ちに公表・周知すること)。

(2)日本代表スタッフの選考・決定

日本代表スタッフ選考規程に基づき強化委員会等により候補者を選考し、理事会の承認を得て決定する。